

工事名称 岡部みわ保育園解体工事

工事場所 藤枝市 岡部町内谷 地内

設計年月日：令和7年6月23日

<工 事 概 要>

建設工事名 岡部みわ保育園解体工事

建設工事箇所 藤枝市 岡部町内谷 地内

工 期 令和 7 年 1 2 月 2 6 日まで

工 事 概 要 岡部みわ保育園の解体工事

工 事 仕 様 特記仕様書による

※ 工事内訳明細書に記載されている数量は参考数量である。

※ 本工事は月単位の週休 2 日推進工事【発注者指定型】である
別紙 1 の藤枝市週休 2 日推進工事（建築工事）特記仕様書を参照すること

(工事価格)

()

()

工事費内訳

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費				
直接工事費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

工事種別内訳

[illegible]

仮設工事 種目別内訳

[illegible]

解体工事 種目別内訳

[illegible]

仮設工事 科目別内訳

[illegible]

解体工事 科目別内訳

[illegible]

解体工事 科目別内訳

[illegible]

[illegible]

解体工事 細目別内訳

解体 建築						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
とりこわし機械 運搬	排出ガス対策型	1	式			
【躯体】						
基礎コンクリート解体	鉄筋切断・集積共	138	m ³			
土間コンクリート解体	鉄筋切断・集積共	21.3	m ³			
鉄骨部解体	集積共	30.5	t			
CB撤去	鉄筋切断・集積共	4.5	m ³			
小計						
【外装】						
屋根材撤去	カラーベストコロアール葺 アスベスト含有 集積共	531	m ²			
屋根シート防水撤去	アスファルトルーフィング 22kg アスベスト含有 集積共	531	m ²			
屋根下地撤去	t=12 ラワン合板 集積共	531	m ²			
外部廊下・下屋 屋根材撤去	t=0.6 片面カラー折板葺 H=88 集積共	212	m ²			
増築部 屋根材撤去	t=0.4 カラーバリュウムカラー鋼板葺 集積共	71.9	m ²			
増築部屋根 シート防水撤去	アスファルトルーフィング 22kg 集積共	71.9	m ²			
増築部 屋根下地撤去	t=18 硬質木片セメント板 集積共	71.9	m ²			
増築部 屋根材撤去	t=0.8 カラーバリュウムカラー鋼板葺 集積共	32.4	m ²			
外壁材撤去	t=50 ALC板 アクリル系吹付タイル仕上 アスベスト含有 防塵養生共 集積共	401	m ²			
外壁材撤去	t=0.5 カラーバリュウムカラー鋼板 集積共	6	m ²			
軒天井材撤去	t=6 石綿ケイカル板 アスベスト含有 防塵養生共 集積共	300	m ²			
外部床材撤去	t=2.5 長尺塩ビシート アスベスト含有 防塵養生共 集積共	154	m ²			

解体工事 細目別内訳

解体		建築				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
軒樋撤去	集積共	112	m			
縦樋撤去	集積共	58.1	m			
小計						
【内装】						
内部造作材とりこ わし	集積共 各種「有害物質等除去」を除く	444	m ²			
ビニル床シート撤去	アスベスト含有 防塵養生共 集積共	52.5	m ²			
壁材撤去	t=7 ラスボード アスベスト含有 防塵養生共 集積共	85.3	m ²			
壁材撤去	t=6 石綿ケイロ板 アスベスト含有 防塵養生共 集積共	167	m ²			
防火間仕切壁 撤去	t=6.3 スレート アスベスト含有 防塵養生共 集積共	180	m ²			
天井材撤去	t=9 岩綿吸音板 アスベスト含有 防塵養生共 集積共	262	m ²			
天井材撤去	t=6 石綿ケイロ板 アスベスト含有 防塵養生共 集積共	85.3	m ²			
小計						
【その他】						
カーテンレール撤去	集積共	51.7	m			
天井点検口撤去	アルミ製 450×450 枠共 集積共	5	か所			
下拵え室 流し台撤去	ステンレス製 1,200×650×800 集積運搬共	1	台			
調理室 床グレーチング撤去	スチール製 250×500×20 集積共	13	枚			
調理室 柵蓋撤去	鋳鉄製 400×400 集積共	1	枚			
調理室 換気フード撤去	t=0.8 HL H=700 集積共	4.5	m			
調理室 ガス台撤去	ステンレス製 900×600×800 集積運搬共	1	台			

解体工事 細目別内訳

解体		建築				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
調理室 流し台撤去	ステンレス製 1,200×700×800 集積運搬共	1	台			
調理室 食洗機撤去	ステンレス製 800×600×1,270 集積運搬共	1	台			
調理室 流し台撤去	ステンレス製 900×600×800 集積運搬共	1	台			
保育室 スライディングウォール 撤去	7,200×2,540 集積共	1	か所			
保育室 保護手摺撤去	スチール製 950×1,730 集積共	5	か所			
保育室 保護手摺撤去	スチール製 950×2,500 集積共	1	か所			
保育室 保護手摺撤去	スチール製 950×3,500 集積共	1	か所			
保育室 緞帳受金物撤去	スチール製 150×50×3.2 L7,200 集積共	2	か所			
保育室 戸棚撤去	木製 650×600×2,540 集積共	3	か所			
保育室 ロッカー撤去	木製 4,750×400×900 集積共	4	か所			
玄関 下足入撤去	木製 2,000×450×1,050 集積共	1	か所			
職員室 アコーディオンカーテン撤去	2,300×1,800 集積共	1	か所			
職員室 窓下戸棚撤去	木製 2,800×600×600 集積共	1	か所			
職員室 書架撤去	木製 4,200×350×700 集積共	1	か所			
教材室 棚撤去	木製 5,400×500、600×1,900 集積共	1	か所			
調乳室 流し台撤去	ステンレス製 W1,200 吊戸棚 水切棚含 集積共	1	か所			
調乳室 コンロ台撤去	ステンレス製 W600 集積共	1	か所			
調乳室 一口コンロ撤去	集積共	1	個			
便所 トイレース撤去	大人用1、子ども用3、掃除具入1 集積共	1	式			
便所 流し台撤去	ステンレス製 1,100×450×500 集積共	2	か所			

解体工事 細目別内訳

[illegible]

解体工事 細目別内訳

解体		電気設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【器具類】						
白熱灯器具 撤去	ブラケットライト 再使用しない	3	個			
白熱灯器具 撤去	シーリングライト 再使用しない	2	個			
白熱灯器具 撤去	埋込灯 再使用しない	1	個			
白熱灯器具 撤去	ペンダントライト 再利用しない	2	個			
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 40W ×1 再使用しない	5	個			
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 40W ×2 再使用しない	17	個			
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 20W ×1 再使用しない	6	個			
蛍光灯器具 撤去	露出形LED FL 40W ×1 再使用しない	10	個			
蛍光灯器具 撤去	露出形LED FL 20W ×1 再使用しない	4	個			
換気扇撤去	20cm 連動シャッター付	1	台			
換気扇撤去	30cm 電動シャッター付	2	台			
換気扇撤去	30cm 有圧型	2	台			
換気扇撤去	14cm 天井埋込式	1	台			
換気扇撤去	23cm 天井埋込式	1	台			
換気扇撤去	12cm ハイブリッドファン	1	台			
放送用スピーカー撤去		11	個			
熱感知器撤去		26	個			
煙感知器撤去		2	個			
非常用ベル撤去		2	個			

解体工事 細目別内訳

[illegible]

解体工事 細目別内訳

解体		機械設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【空調類】						
ルームエアコン撤去	(家電リサイクル法対象) 屋外機 配管類共	9	台			
[衛生設備類]						
大便器撤去	タンク式	1	組			
幼児便器撤去	タンク式	6	組			
掃除用流し撤去		1	組			
小便器撤去		6	組			
手洗い器撤去		3	組			
和風便器撤去	タンク式	1	組			
汚物流し撤去		1	組			
仕切板撤去	小便器用、陶製	1	組			
水栓撤去		33	組			
小計						
【配管類】						
給水ビニールライニング 鋼管撤去	20A	140	m			
給水ビニールライニング 鋼管撤去	25A	80	m			
給水ビニールライニング 鋼管撤去	40A	65	m			
給水ビニールライニング 鋼管撤去	50A	27	m			
排水通気ビニール管 撤去	150φVP	40	m			
排水通気ビニール管 撤去	125φVP	15	m			

解体工事 細目別内訳

解体		機械設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
排水通気ビニール管 撤去	100φVP	122	m			
ガス プラスチックライニング鋼 管撤去	40A	23	m			
ガス プラスチックライニング鋼 管撤去	25A	33	m			
ガス プラスチックライニング鋼 管撤去	20A	18	m			
ガス給湯器撤去	調理室	1	台			
排水桝撤去	360×360	5	か所			
排水桝撤去	450×450	4	か所			
排水桝撤去	MHA450φ	1	か所			
排水桝撤去	MHB450φ	3	か所			
汚水桝撤去	450×450 MHA450φ	1	か所			
汚水桝撤去	450×450 MHB450φ	4	か所			
小計						
計						

解体工事 細目別内訳

解体 外構						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
《外構》						
アスファルト舗装撤去	t=50 集積共	374	m ²			
カラーアスファルト舗装撤去	t=30 集積共	29.1	m ²			
コンクリート土間仕上撤去	集積共	114	m ²			
スロープ立上り壁撤去	鉄筋コンクリート製 集積共	0.5	m ³			
コンクリート縁石撤去	120×120×600 集積共	42.9	m			
手洗足洗場撤去	鉄筋コンクリート製 850×1,100×2,000 集積共	3	か所			
花壇撤去	コンクリート製 150×450 集積共	26.6	m			
側溝蓋撤去	コンクリート製 350×500×50 集積共	31.6	m			
グレーチング撤去	スチール製 350×1,000×38 集積共	7.5	m			
鉄扉撤去	両開戸 1,600×1,500 集積共	2	か所			
小計						
【付属物】						
①タンホール置場撤去	木製 2,000×1,950×2,000 集積共	1	か所			
②オイルタンク撤去	架台:鉄筋コンクリート製 吹付タイル仕上 1,260×1,260×2,450 アスベスト含有 防塵養生・集積共 オイルタンク 900×900×900 クランプ φ16	1	か所			
③貯水槽撤去	2,000×2,000×2,500 集積共	1	か所			
④物置撤去	3,600×3,600×2,400 集積共	1	か所			
⑤ポール撤去	FRP製 5,000×3,400 集積共	1	か所			
⑥バンダ撤去	集積共	2	か所			

解体工事 細目別内訳

解体		外構				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
⑦物置撤去	木製 2,300×900×1,600 集積共	1	か所			
⑧砂場撤去	木製 3,600×3,600 集積共	1	か所			
⑨滑り台撤去	鉄製 5,200×425 集積共	1	か所			
⑩旗竿撤去	6-FPバント式 ラックポール2本 立上壁:鉄筋コンクリート製吹付タイル仕上 アスベスト含有 防塵養生・集積共	1	か所			
⑪鉄棒撤去	鉄製 5,400×50×900～1,100 支柱50□ 28φ磨鋼棒 集積共	1	か所			
⑫フラスコ撤去	鋼製 5,800×1,920×2,000 集積共	1	か所			
⑬太鼓橋撤去	鋼製 1,500×900 集積共	1	か所			
⑭のぼり棒撤去	鋼製 4,000×1,800×2,762 集積共	1	か所			
⑮欠番						
⑯小屋撤去	木製 2,400×1,350×2,300 集積共	1	か所			
⑰自転車置場撤去	アルミ押出形材 ボリカ 既製品 2,500×1,300 集積共	1	か所			
⑱砂場撤去	木製 3,600×3,600 集積共	1	か所			
⑲倉庫撤去	スチール製既製品2,200×1,150×2,300 集積共	1	か所			
⑳藤棚1撤去	鋼製 5,000×4,000×2,500 集積共	1	か所			
㉑藤棚2撤去	鋼製 5,000×1,500×2,000 集積共	1	か所			
㉒東面フェンス撤去	メッシュフェンス 基礎塀存置 支柱脚部切断45本 H1,550×62.5m 集積共	1	式			
㉓西面フェンス撤去	メッシュフェンス 基礎塀存置 支柱脚部切断36本 H2,000×48.9m 集積共	1	式			
㉔南面フェンス撤去	メッシュフェンス 基礎塀存置 支柱脚部切断20本 H1,500×47.3m 集積共	1	式			
㉕北面フェンス撤去	メッシュフェンス 基礎塀存置 支柱脚部切断29本 H1,550×34.6m 集積共	1	式			
㉖西側門扉撤去	5,450×150×1,200 集積共	1	か所			

解体工事 細目別内訳

解体 外構						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
㊸北側門扉撤去	9,500×250×1,200 コンクリート製門袖壁 吹付タイル仕上 アスベスト含有 防塵養生・集積共 館銘文字共	1	か所			
付属物基礎撤去		10.4	m3			
付属物基礎CB撤去		0.7	m3			
㊹浄化槽撤去	分離バット式40人槽 2,500×1,500×2,030 土間CON 1,500×2,500×0.15 スラブCON 2,300×2,900×0.15 汲取り消毒・集積共	1	基			
㊺調理用 排水トラップ 撤去	コンクリート製 1,750×650×1,070 マンホール蓋 MTB 450φ×3 集積共	1	か所			
㊻防災倉庫撤去	3,000×1,300×2,100 集積共	1	か所			
㊼スリッカー撤去	電柱撤去共 集積共	1	か所			
小計						
【植栽】						
あ)高木伐採	径300 H3,000 GL上伐採 集積共	1	本			
い)中木伐採	径200 H2,500 GL上伐採 集積共	2	本			
う)高木伐採	径300 H6,000 GL上伐採 集積共	1	本			
え)中木伐採	径200 H2,500 GL上伐採 集積共	1	本			
お)高木伐採	径400 H6,000 GL上伐採 集積共	1	本			
か)中木伐採	径100 H2,500 GL上伐採 集積共	1	本			
き)中木伐採	径50 H2,000 GL上伐採 集積共	1	本			
く)高木伐採	径150 H3,000 GL上伐採 集積共	1	本			
け)高木伐採	径200 H3,000 GL上伐採 集積共	1	本			

[illegible]

解体工事 細目別内訳

解体		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
《 建 築 》						
【運搬】	積込共					
発生材運搬	コンクリート類	165	m ³			
発生材運搬	木くず類	16.9	m ³			
発生材運搬	廃プラスチック類	0.4	m ³			
発生材運搬	石こうボード	0.1	m ³			
発生材運搬	ガラス類	2.3	m ³			
発生材運搬	繊維くず	1.1	m ³			
発生材運搬	鉄筋・鉄骨	46.4	t			
発生材運搬	金属類	7.9	t			
発生材運搬 (アスベスト含有建材)	カーペット・ストコロ・アル葺	531	m ²			
発生材運搬 (アスベスト含有建材)	シート防水 アスファルトルーフィング 22kg	531	m ²			
発生材運搬 (アスベスト含有建材)	t=50 ALC板 アクリル系吹付タイル仕上	401	m ²			
発生材運搬 (アスベスト含有建材)	t=6 石綿ケイカル板	552	m ²			
発生材運搬 (アスベスト含有建材)	t=2.5 長尺塩ビシート	207	m ²			
発生材運搬 (アスベスト含有建材)	t=7 ラスボード	85.3	m ²			
発生材運搬 (アスベスト含有建材)	t=6.3 スレートボード	180	m ²			
発生材運搬 (アスベスト含有建材)	t=9 岩綿吸音板	262	m ²			
カーテンレール運搬		51.7	m			
天井点検口運搬	アルミ製 450×450 枠共	5	カ所			

解体工事 細目別内訳

解体		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
調理室 床クレーンクレーン運搬	スチール製 250×500×20	13	枚			
調理室 柵蓋運搬	鋳鉄製 400×400	1	枚			
調理室 換気フード運搬	t=0.8 HL H=700	4.5	m			
保育室 スライディングウォール 運搬	7,200×2,540	1	か所			
保育室 保護手摺運搬	スチール製 950×1,730	5	か所			
保育室 保護手摺運搬	スチール製 950×2,500	1	か所			
保育室 保護手摺運搬	スチール製 950×3,500	1	か所			
保育室 緞帳受金物運搬	スチール製 150×50×3.2 L7,200	2	か所			
保育室 戸棚運搬	木製 650×600×2,540	3	か所			
保育室 ロッカー運搬	木製 4,750×400×900	4	か所			
玄関 下足入運搬	木製 2,000×450×1,050	1	か所			
職員室 アコーディオンカーテン運搬	2,300×1,800	1	か所			
職員室 窓下戸棚運搬	木製 2,800×600×600	1	か所			
職員室 書架運搬	木製 4,200×350×700	1	か所			
調乳室 流し台運搬	ステンレス製 W1,200 吊戸棚 水切棚含	1	か所			
調乳室 コンロ台運搬	ステンレス製 W600	1	か所			
調乳室 一口コンロ運搬		1	個			
便所 トイレブース運搬	大人用1、子ども用3、掃除具入1	1	式			
便所 流し台運搬	ステンレス製 1,100×450×500	2	か所			
便所 浴槽運搬	1,100×700×550	1	か所			

解体工事 細目別内訳

解体		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
乳児室 戸棚運搬	木製 1,100×500×2,500	1	か所			
乳児室 ロッカー運搬	木製 3,700×400×900 集積共	1	か所			
保育室 戸棚運搬	木製 1,200×600×2,540	1	か所			
保育室 下部収納運搬	木製 1,800×950×1,000	1	か所			
保育室 流し台運搬	ステンレス製 W1,200	1	か所			
外部廊下 パーテーション運搬	アルミ製	1	か所			
小計						
【処分】						
発生材処分	コンクリート類	165	m ³			
発生材処分	木くず類	16.9	m ³			
発生材処分	廃プラスチック類	0.4	m ³			
発生材処分	石こうボード	0.1	m ³			
発生材処分	ガラス類	2.3	m ³			
発生材処分	繊維くず	1.1	m ³			
発生材処分	鉄筋・鉄骨	46.4	t			
発生材処分	金属類	7.9	t			
発生材処分 (アスベスト含有建材)	カーペット・コゴロニアル葺	531	m ²			
発生材処分 (アスベスト含有建材)	シート防水 アスファルトルーフィング [※] 22kg	531	m ²			
発生材処分 (アスベスト含有建材)	t=50 ALC板 アクリル系吹付タイル仕上	401	m ²			
発生材処分 (アスベスト含有建材)	t=6 石綿ケイカル板	552	m ²			

解体工事 細目別内訳

解体		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材処分 (アスベスト含有建材)	t=2.5 長尺塩ビシート	207	m ²			
発生材処分 (アスベスト含有建材)	t=7 ラスボート	85.3	m ²			
発生材処分 (アスベスト含有建材)	t=6.3 スレートボート	180	m ²			
発生材処分 (アスベスト含有建材)	t=9 岩綿吸音板	262	m ²			
カーテンレール処分		51.7	m			
天井点検口処分	アルミ製 450×450 枠共	5	か所			
下拵え室 流し台処分	ステンレス製 1,200×650×800	1	台			
調理室 床クレーニング処分	スチール製 250×500×20	13	枚			
調理室 柵蓋処分	鋳鉄製 400×400	1	枚			
調理室 換気フード処分	t=0.8 HL H=700	4.5	m			
調理室 ガス台処分	ステンレス製 900×600×800	1	台			
調理室 流し台処分	ステンレス製 1,200×700×800	1	台			
調理室 食洗機処分	ステンレス製 800×600×1,270	1	台			
調理室 流し台処分	ステンレス製 900×600×800	1	台			
保育室 ライティングウォール 処分	7,200×2,540	1	か所			
保育室 保護手摺処分	スチール製 950×1,730	5	か所			
保育室 保護手摺処分	スチール製 950×2,500	1	か所			
保育室 保護手摺処分	スチール製 950×3,500	1	か所			
保育室 緞帳受金物処分	スチール製 150×50×3.2 L7,200	2	か所			
保育室 戸棚処分	木製 650×600×2,540	3	か所			

解体工事 細目別内訳

解体		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
保育室 ロッカー処分	木製 4,750×400×900	4	か所			
玄関 下足入処分	木製 2,000×450×1,050	1	か所			
職員室 アコーディオンカーテン処分	2,300×1,800	1	か所			
職員室 窓下戸棚処分	木製 2,800×600×600	1	か所			
職員室 書架処分	木製 4,200×350×700	1	か所			
調乳室 流し台処分	ステンレス製 W1,200 吊戸棚 水切棚含	1	か所			
調乳室 コンロ台処分	ステンレス製 W600	1	か所			
調乳室 一口コンロ処分		1	個			
便所 トイレブース処分	大人用1、子ども用3、掃除具入1	1	式			
便所 流し台処分	ステンレス製 1,100×450×500	2	か所			
便所 浴槽処分	1,100×700×550	1	か所			
乳児室 戸棚処分	木製 1,100×500×2,500	1	か所			
乳児室 ロッカー処分	木製 3,700×400×900 集積共	1	か所			
保育室 戸棚処分	木製 1,200×600×2,540	1	か所			
保育室 下部収納処分	木製 1,800×950×1,000	1	か所			
保育室 流し台処分	ステンレス製 W1,200	1	か所			
外部廊下 パーテーション処分	アルミ製	1	か所			
小計						
《電気設備》						
【運搬】	積込共					

解体工事 細目別内訳

解体		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
白熱灯器具 運搬	ブラケットライト	3	個			
白熱灯器具 運搬	シーリングライト	2	個			
白熱灯器具 運搬	埋込灯	1	個			
白熱灯器具 運搬	ペンダントライト	2	個			
蛍光灯器具 運搬	露出形 FL 40W ×1	5	個			
蛍光灯器具 運搬	露出形 FL 40W ×2	17	個			
蛍光灯器具 運搬	露出形 FL 20W ×1	6	個			
蛍光灯器具 運搬	露出形LED FL 40W ×1	10	個			
蛍光灯器具 運搬	露出形LED FL 20W ×1	4	個			
換気扇運搬	20cm 連動シャッター付	1	台			
換気扇運搬	30cm 電動シャッター付	2	台			
換気扇運搬	30cm 有圧型	2	台			
換気扇運搬	14cm 天井埋込式	1	台			
換気扇運搬	23cm 天井埋込式	1	台			
換気扇運搬	12cm ペイプファン	1	台			
放送用スピーカー 運搬		11	個			
熱感知器 運搬		26	個			
煙感知器 運搬		2	個			
非常用ベル 運搬		2	個			
消火器運搬		2	個			

解体工事 細目別内訳

解体		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
動力分電盤 運搬	P-1	1	面			
電灯分電盤 運搬	L-1	1	面			
防犯カメラ 運搬		4	個			
UHFアンテナ 運搬	20EL	2	個			
スイッチ運搬		14	個			
コンセント運搬		39	個			
電線管類 運搬		0.1	t			
配線類 運搬	銅くず	0.2	t			
小計						
【処分】						
白熱灯器具 処分	ブラケットライト	3	個			
白熱灯器具 処分	シーリングライト	2	個			
白熱灯器具 処分	埋込灯	1	個			
白熱灯器具 処分	ペンダントライト	2	個			
蛍光灯器具 処分	露出形 FL 40W ×1	5	個			
蛍光灯器具 処分	露出形 FL 40W ×2	17	個			
蛍光灯器具 処分	露出形 FL 20W ×1	6	個			
蛍光灯器具 処分	露出形LED FL 40W ×1	10	個			
蛍光灯器具 処分	露出形LED FL 20W ×1	4	個			
換気扇 処分	20cm 連動シャッター付	1	台			

解体工事 細目別内訳

解体		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
換気扇 処分	30cm 電動シャッター付	2	台			
換気扇 処分	30cm 有圧型	2	台			
換気扇 処分	14cm 天井埋込式	1	台			
換気扇 処分	23cm 天井埋込式	1	台			
換気扇 処分	12cm バイブファン	1	台			
放送用スピーカー 処分		11	個			
熱感知器 処分		26	個			
煙感知器 処分		2	個			
非常用ベル 処分		2	個			
消火器 処分		2	個			
動力分電盤 処分	P-1	1	面			
電灯分電盤 処分	L-1	1	面			
防犯カメラ 処分		4	個			
UHFアンテナ 処分	20EL	2	個			
スイッチ処分		14	個			
コンセント処分		39	個			
電線管類 処分		0.1	t			
配線類 処分	銅くず	0.2	t			
小計						
《機械設備》						

解体工事 細目別内訳

解体		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【運搬】	積込共					
ルームエアコン 運搬	(家電リサイクル法対象) 屋外機 配管類共	9	台			
大便器 運搬	タンク式	1	組			
幼児便器 運搬	タンク式	6	組			
掃除用流し 運搬		1	組			
小便器 運搬		6	組			
手洗い器 運搬		3	組			
和風便器 運搬	タンク式	1	組			
汚物流し 運搬		1	組			
仕切板 運搬	小便器用、陶製	1	組			
水栓 運搬		33	組			
ガス給湯器 運搬	調理室	1	台			
給水ビニールライン管 鋼管運搬		0.8	t			
排水通気ビニール管 運搬		0.9	t			
ガスプラスチックライン管 鋼管運搬		0.2	t			
給排水鉛管 運搬		0.2	t			
排水桝運搬	360×360	5	か所			
排水桝運搬	450×450	4	か所			
排水桝運搬	MHA450 φ	1	か所			
排水桝運搬	MHB450 φ	3	か所			

解体工事 細目別内訳

解体		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
汚水柵運搬	450×450 MHA450 φ	1	か所			
汚水柵運搬	450×450 MHB450 φ	4	か所			
小計						
【処分】						
ルームエアコン 処分	(家電リサイクル法対象) 屋外機 配管類共	9	台			
大便器 処分	タンク式	1	組			
幼児便器 処分	タンク式	6	組			
掃除用流し 処分		1	組			
小便器 処分		6	組			
手洗い器 処分		3	組			
和風便器 処分	タンク式	1	組			
汚物流し 処分		1	組			
仕切板 処分	小便器用、陶製	1	組			
水栓 処分		33	組			
ガス給湯器 処分	調理室	1	台			
給水ビニールライニング 鋼管処分		0.8	t			
排水通気ビニール管 処分		0.9	t			
ガスプラスチックライニング 鋼管処分		0.2	t			
給排水鉛管 処分		0.2	t			
排水柵 処分	360×360	5	か所			

解体工事 細目別内訳

解体		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
排水桝 処分	450×450	4	か所			
排水桝 処分	MHA450 φ	1	か所			
排水桝 処分	MHB450 φ	3	か所			
汚水桝 処分	450×450 MHA450 φ	1	か所			
汚水桝 処分	450×450 MHB450 φ	4	か所			
小計						
《外構》						
【運搬】	積込共					
発生材運搬	コンクリート類	36.3	m ³			
発生材運搬	アスファルトコンクリート類	19.6	m ³			
発生材運搬	伐採類	5.5	m ³			
発生材運搬 (アスベスト含有建材)	アクリル系吹付タイル材	39.3	m ²			
グレーチング運搬	スチール製 350×1,000×38	7.5	m			
鉄扉運搬	両開戸 1,600×1,500	2	か所			
①タンホール置場 運搬	木製 2,000×1,950×2,000	1	か所			
②オイルタンク運搬	オイルタンク 900×900×900 ドラップ φ16	1	か所			
③貯水槽運搬	2,000×2,000×2,500	1	か所			
④物置運搬	3,600×3,600×2,400	1	か所			
⑤プール運搬	FRP製 5,000×3,400	1	か所			
⑥バンダ運搬		2	か所			

解体工事 細目別内訳

解体		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
⑦物置運搬	木製 2,300×900×1,600	1	か所			
⑧砂場運搬	木製 3,600×3,600	1	か所			
⑨滑り台運搬	鉄製 5,200×425	1	か所			
⑩旗竿運搬	6-FPハンﾄﾞ式 ラックボｰﾙ2本	1	か所			
⑪鉄棒運搬	鉄製 5,400×50×900～1,100 支柱50□ 28φ磨鋼棒	1	か所			
⑫ﾌﾟﾗﾝｺ運搬	鋼製 5,800×1,920×2,000	1	か所			
⑬太鼓橋運搬	鋼製 1,500×900	1	か所			
⑭のぼり棒運搬	鋼製 4,000×1,800×2,762	1	か所			
⑮欠番						
⑯小屋運搬	木製 2,400×1,350×2,300	1	か所			
⑰自転車置場運搬	ﾌﾙﾐ押出形材 ｾﾛﾐｶ 既製品 2,500×1,300	1	か所			
⑱砂場運搬	木製 3,600×3,600	1	か所			
⑲倉庫運搬	ｽﾃｰﾙ製既製品2,200×1,150×2,300	1	か所			
㉑藤棚1運搬	鋼製 5,000×4,000×2,500	1	か所			
㉑藤棚2運搬	鋼製 5,000×1,500×2,000	1	か所			
㉒東面フェンス運搬	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ 基礎塀存置 支柱脚部切断45本 H1,550×65.2m	1	式			
㉒西面フェンス運搬	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ 基礎塀存置 支柱脚部切断36本 H2,000×48.9m	1	式			
㉒南面フェンス運搬	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ 基礎塀存置 支柱脚部切断20本 H1,500×47.3m	1	式			
㉒北面フェンス運搬	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ 基礎塀存置 支柱脚部切断29本 H1,550×34.6m	1	式			
㉓西側門扉運搬	5,450×150×1,200	1	か所			

解体工事 細目別内訳

解体		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
㊦北側門扉運搬	9,500×250×1,200	1	か所			
㊧浄化槽運搬	分離バッチ式40人槽 2,500×1,500×2,030	1	基			
㊨調理用 排水トラップマンホール蓋 運搬	MTB 450φ	3	か所			
㊩防災倉庫運搬	3,000×1,300×2,100	1	か所			
㊪スピーカー運搬	電柱共	1	か所			
小計						
【処分】						
発生材処分	コンクリート類	36.3	m ³			
発生材処分	アスファルトコンクリート類	19.6	m ³			
発生材処分	伐採類	5.5	m ³			
発生材処分 (アスベスト含有建材)	アクリル系吹付タイル材	39.3	m ²			
グレーチング処分	スチール製 350×1,000×38	7.5	m			
鉄扉処分	両開戸 1,600×1,500	2	か所			
①タンクマンホール置場 処分	木製 2,000×1,950×2,000	1	か所			
②オイルタンク処分	オイルタンク 900×900×900 トラップφ16	1	か所			
③貯水槽処分	2,000×2,000×2,500	1	か所			
④物置処分	3,600×3,600×2,400	1	か所			
⑤プール処分	FRP製 5,000×3,400	1	か所			
⑥バンダ処分		2	か所			
⑦物置処分	木製 2,300×900×1,600	1	か所			

解体工事 細目別内訳

解体		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
⑧砂場処分	木製 3,600×3,600	1	か所			
⑨滑り台処分	鉄製 5,200×425 運搬	1	か所			
⑩旗竿処分	6-FPパント式 ラックポール2本	1	か所			
⑪鉄棒処分	鉄製 5,400×50×900～1,100 支柱50□ 28φ磨鋼棒	1	か所			
⑫フラスコ処分	鋼製 5,800×1,920×2,000	1	か所			
⑬太鼓橋処分	鋼製 1,500×900	1	か所			
⑭のぼり棒処分	鋼製 4,000×1,800×2,762	1	か所			
⑮欠番						
⑯小屋処分	木製 2,400×1,350×2,300	1	か所			
⑰自転車置場処分	アルミ押出形材 ボリカ 既製品 2,500×1,300	1	か所			
⑱砂場処分	木製 3,600×3,600	1	か所			
⑲倉庫処分	スチール製既製品2,200×1,150×2,300	1	か所			
⑳藤棚1処分	鋼製 5,000×4,000×2,500	1	か所			
㉑藤棚2処分	鋼製 5,000×1,500×2,000	1	か所			
㉒東面フェンス処分	メッシュフェンス 基礎塀存置 支柱脚部切断45本 H1,550×65.2m	1	式			
㉓西面フェンス処分	メッシュフェンス 基礎塀存置 支柱脚部切断36本 H2,000×48.9m	1	式			
㉔南面フェンス処分	メッシュフェンス 基礎塀存置 支柱脚部切断20本 H1,500×47.3m	1	式			
㉕北面フェンス処分	メッシュフェンス 基礎塀存置 支柱脚部切断29本 H1,550×34.6m	1	式			
㉖西側門扉処分	5,450×150×1,200	1	か所			
㉗北側門扉処分	9,500×250×1,200	1	か所			

[illegible]

解体工事 細目別内訳

[illegible]

仮設工事 別紙明細

[illegible]

共通仮設費(積上) 明細

[illegible]

藤枝市 週休 2 日推進工事（建築工事）特記仕様書 [発注者指定型]

1 発注方式

本工事は、発注者が月単位の週休 2 日に取り組むことを指定する週休 2 日推進工事（発注者指定型）である。なお、月単位の週休 2 日に取り組むことを必須とする。

2 週休 2 日の考え方

- (1) 「月単位の週休 2 日」とは、対象期間において、全ての月で 4 週 8 休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。
- (2) 「通期の週休 2 日」とは、対象期間において、4 週 8 休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。
- (3) 「対象期間」とは、工期のうち、準備期間と後片付け期間を除く期間をいう。なお、年末年始休暇 6 日間、夏季休暇 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは含まない。
- (4) 「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場が閉所された状態をいう。
- (5) 「現場休息」とは、分離発注工事（一つの工事現場で概ね同期間に施工される関連工事がある工事。以下同じ。）の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場作業が無い状態をいう。
- (6) 「4 週 8 休以上」とは、以下のとおりとする。
 - ア 月単位の週休 2 日においては、対象期間内の全ての月ごとに現場閉所（現場休息）日数割合（以下「現場閉所（現場休息）率」という。）が 28.5%（8 日 / 28 日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が 28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行っている状態をいう。
 - イ 通期の週休 2 日においては、対象期間内の現場閉所（現場休息）率が 28.5%（8 日 / 28 日）以上の水準に達する状態をいう。
 - ウ 現場休息率の算出において、現場休息の日数には現場閉所の日数を含む。
 - エ 降雨、降雪等による予定外の現場閉所（現場休息）日についても、現場閉所（現場休息）日数に含めるものとする。

3 実施方法

- (1) 対象期間開始前
対象期間を受発注者間協議により設定する。

受注者は、「現場閉所（現場休息）予定日」を記載した実施工程表等を作成し、監督員の確認を得た上で週休２日に取り組むものとする。

分離発注工事の場合は、受注者間で協力し、工事の進捗に影響が出ないように「現場閉所（現場休息）予定日」を調整した上で、実施工程表等を作成する。

(2) 対象期間中

受注者は、監督員が現場閉所（現場休息）の状況（実績）を確認するために、実施工程表等に「現場閉所（現場休息）日」を記載し、必要な都度、監督員に提出するものとする。

工程計画の見直し等が生じた場合には、その都度実施工程表等を提出する。

(3) 現場閉所（現場休息）率の確認時

監督員は、受注者が作成する「現場閉所（現場休息）日」が記載された実施工程表等により対象期間内の現場閉所（現場休息）率を算出し、現場閉所（現場休息）率確認書を作成し、受注者に交付する。

4 工事間調整

受注者は監督員、関連工事受注者その他関係者と協力し、一つの工事現場において、設備工事、内装工事等の後工程の適正な施工期間を考慮して、全体の工程に遅延が生じないように、各工事間の調整を適切に実施する。

5 実施困難な場合の対応

受注者の責めに帰すことができない理由により実施が困難な場合は、対象期間開始前に受発注者間協議を行うこととする。

6 費用の計上

予定価格は、月単位の週休２日を前提に以下の(1)の補正係数により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費。以下同じ。）を補正し作成している。

発注者は、現場閉所（現場休息）の達成状況を確認し、月単位の週休２日を満たさない場合は、以下の(2)の補正係数に変更し、通期の週休２日に満たない場合は補正係数を除き、請負代金額のうち労務費補正分の差額を減額変更する。

(1) 月単位の週休２日 補正係数 1.04

(2) 通期の週休２日 補正係数 1.02

交通誘導警備員の配置に関する特記仕様書(標準)

(交通誘導警備員の設計計上数量)

第1条 本工事の施工に関しては、設計書に計上した交通誘導警備員の人員を配置する。なお、配置場所については、監督員と協議するものとする。

(安全対策)

第2条 受注者は工事の施工に当たって交通整理を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導警備員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

(その他)

第3条 交通誘導警備員は、原則、警備業法（昭和47年法律第117号一部改正平成16年法律第50号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導警備員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導警備員の点呼を取り、交通誘導警備員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、以上のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導警備員を適正に配置するものとする。

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律に基づく差別的取扱いの

禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項等

(受注者の責務)

- 1 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律第10条第1項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」(平成28年3月11日藤枝市長決定)第2条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第3条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。
- 2 本市作成の「視覚情報のためのカラーユニバーサルデザインガイドライン」(令和3年1月発行)を参考に、カラーユニバーサルデザインに配慮すること。

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。

なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。